

学則の変更の趣旨等を記載した書類

本学では、現在の社会からの要請に応えるべく、教育研究機関に求められている責務を果たしている。今次、一層の社会的要請に応えるべく、国際関係学部の編入学定員の解消に伴う入学定員変更をおこなう。

具体的には、平成 25 (2013) 年度より、国際関係学部の 3 年次編入学定員 6 名を減じて廃止し、入学定員 3 名に振り替える。なお、本振り替えによる収容定員 (1,220 名) の変更はない。

本学では、建学の精神や教学理念に基づき、今次の収容定員の変更を通じて、教育研究機関に求められている課題を推進していくものである。

国際関係学部における変更の趣旨および必要性等は以下の通りである。

I. 国際関係学部

1. 学則変更の内容

立命館大学国際関係学部では、平成 25 (2013) 年度より 3 年次編入学定員 6 名を減じて廃止し、入学定員 3 名に振り替える。なお、本振り替えによる収容定員の変更はない。

(名)

学部および学科	入学定員	編入学定員 (3 年次)	収容定員	入学定員 (現行)
国際関係学部 国際関係学科	305 (3)	6 (△6)	1,220	(302)

2. 学則変更の必要性

国際関係学部は、学部設立当初より、地球規模で変化しつつある現代社会を理解し、国際的な分野において活躍できる、専門性と自主性、積極性を兼ね備えた総合力ある人材を育成することを目的としてきた。昨今、グローバル化の進行とともに、本学部への社会的な期待が高まっており、2011 年 4 月、新たに国際関係学専攻および主として英語で学ぶグローバル・スタディーズ専攻を新設する教学改革を行った。新カリキュラムにおいては、各年次に小集団科目を置くなど、これまで以上に、初年次から卒業までのプログラムを体系化しており、4 年間を通して学生を育成することが望ましいとの立場から、今次の改革に合わせて、編入学定員の設定を廃止する決定を行った。

また、編入学定員設定は、当初、多様な経験を有する編入学生を受入れることにより、学生が相互に刺激を受けることを大きな目的としていた。しかし、今次改革により、外国人留学生を 2 倍以上に増加させるなど、学生の多様化を進めることができた。このため、編入学定員設定の目的が薄れたことも廃止決定理由の一つである。

3. 学則変更にもなう教育課程等の変更内容

国際関係学部における今回の学則変更は、入学定員の一部を編入学定員から通常定員に振り替えるものである。2013 年度において教育課程等の変更は伴わず、現行 (2011 年度カリキュラム) を維持する。

4. 入学者選抜の概要

国際関係学部は、国際関係への深い知見と国際社会における行動力を有する人材の育成を目指して、国際関係に関わる学問を学ぶ意欲と問題関心が高く、そのための理解力と表現力に優れており、また高度な情報能力を有し、将来、国際舞台の諸領域で活躍する熱意を有した学生を受け入れることをアドミッションポリシーとして掲げている。編入学定員廃止後も、入学定員 305 名については、従来実施している、一般入学試験、AO 方式など特別入学試験などにより、入学者を選抜する。

以上